



GLOBAL NATURE POSITIVE SUMMIT

2026 KUMAMOTO JAPAN

第2回グローバル・ネイチャー・ポジティブ・サミット 熊本、2026年7月14日～16日, Japan

Accelerating private sector and sub-national government action to halt and reverse nature loss.

自然の喪失を阻止し逆転させるために、民間セクターや地方政府の行動を加速する。

グローバル・ネイチャー・ポジティブ・サミットは、ネイチャー・ポジティブのグローバル目標および2022年に196か国が合意したグローバル生物多様性フレームワーク(GBF)のミッションに沿って、生物多様性の喪失を阻止・逆転させるための行動を加速することに焦点を当てます。

2026年10月にアルメニア・エレバンで開催されるCBD COP17の政府会議に先立ち、このサミットは、特に民間セクターや地方自治体からのGBFおよびそのネイチャー・ポジティブ・ミッションへの貢献に焦点を当て、自然のポジティブな戦略と成果を示すことでコミットメントと進展を示すことを目的としています。

このサミットは、日本、アジア太平洋地域、そして世界中から、企業や金融リーダー、地方政府、科学者、学者、市民社会を含む約1,000名の人々が集まり、自然に優しい未来、すなわち経済と社会の健康と回復力を向上させる唯一の未来に向けた進歩を共有したいと考える人々を惹きつけることを目指しています。



GLOBAL
NATURE
POSITIVE
SUMMIT
2026
KUMAMOTO JAPAN



プログラム案

第1日目 - サミットの舞台設定: Nature Positiveとは何か、なぜビジョンや目標が社会や経済にとって重要なのか、そして現実に変えるために必要なことについて議論します。

MORNING:

Session name	Type of session	Short description
開会	全体会	主催者や来賓による歓迎の挨拶を伴うサミットの公式開会式。
ネイチャーポジティブへの導入	基調講演	ネイチャー・ポジティブとは何か、なぜ生物多様性危機に対処することが重要か、そしてそれが分野や地域を超えて実践的にどのように実現できるか。
ビジネスの役割	パネルディスカッション	企業が戦略、オペレーション、バリューチェーン、イノベーションを通じて自然にポジティブな移行をどのように促進できるか、そして企業リーダーシップがなぜ不可欠なのかを探る。
金融の役割	パネルディスカッション	金融機関や投資家が資本の流れを自然に有利な結果に向けてシフトし、自然に関連するリスクや機会をどのように管理できるかを検証する。



DRAFT HIGH-LEVEL PROGRAMME

DAY 1 continued - MORNING:

Session name	Type of session	Short description
地方自治体の役割	パネルディスカッション	都市、地域、地方政府が政策、計画、現地でのパートナーシップを通じて自然のポジティブビジョンをどのように実現できるかを議論します。
Fireside Chat: リーダーシップ	全体会	思想的リーダーたちとの魅力的な対話で、リーダーシップ、緊急性、責任、長期的なビジョンについて振り返り、朝の全体会議を締めくくります

午後:

セッション名	Type of session	Short description
お昼と弁当セッション	分科会 サイドイベント	日本の「弁当」スタイルに触発されたカジュアルな昼食時のプレゼンテーションやディスカッションがあり、簡潔な洞察と交流が提供されます。トピックとホストは後日発表予定です。
ネイチャー・ポジティブのビジネスと社会的根拠	パネルディスカッション	経済と社会にとってネイチャーポジティブな移行が生む価値とは？レジリエンス、競争力、ウェルビーイングを探求します。
ネイチャー・ポジティブ・ストラテジー	パネルディスカッション	組織が約束や目標から実施・説明責任に至るまで、信頼性が高く効果的な自然ポジティブ戦略を設計・実施する方法。
ネイチャー・ポジティブ、ネットゼロ、循環性	パネルディスカッション	ネイチャーポジティブアクション、気候緩和と適応、循環型経済アプローチの関連性を検証する。
ファイヤーサイドチャット: 政治的・経済的な逆風	全体会	現在の地政学的、経済的、政治的な課題が、ネイチャー・ポジティブへの進展を遅らせているのか、それとも再形成しているのかについての対話。
Thematic Sessions	分科会 サイドイベント	ネイチャーポジティブな議題に関連する分野別、横断的、具体的な課題に特化した並行セッション。 テーマは後日発表

EVENING:

ディナーレセプション: 夕方のレセプションでは、文化イベントや、対話、ネットワーキングの場を作り出します。 (招待者のみ)



DRAFT HIGH-LEVEL PROGRAMME

2日目 - Nature Positiveの実現: ツール、道筋、場所: Nature Positiveのビジョンと目標を現実に変えるための支援要因と解決策に焦点を当て、強力な行動呼びかけを送ります。

午前:

Session name	Type of session	Short description
Fireside Chat	全体会	2日目の開幕として、魅力的な対話から始まり、デリバリー、イノベーション、インパクトに関する議論のトーンを設定します
ネイチャーポジティブを測定するには?	パネルディスカッション	自然に良い結果を信頼性と実践的に測定する方法、経験、方法論、学んだ教訓の共有
ネイチャーポジティブをどう伝えるか?	パネルディスカッション	信頼できる自然肯定の発言や主張とは何かを定義し、進捗を誠実かつ透明性を持って伝え、説明責任と認知を確保する方法を明確にします。.
技術の役割	パネルディスカッション	自然に良い行動の提供、測定、拡大を支援する技術革新とデジタルソリューションの探求.
テーマ別セッション	分科会 サイドイベント	ネイチャーポジティブな議題に関連する分野別、横断的、具体的な課題に特化した並行セッション テーマは後日公開

午後

Session name	Type of session	Short description
お昼と弁当セッション (分科会/サイドイベント)	分科会 サイドイベント	日本の「弁当」スタイルに触発されたカジュアルな昼食時のプレゼンテーションやディスカッションがあり、簡潔な洞察と交流が提供されます。トピックとホストは後日発表予定です。
バリューチェーンからランドスケープへ	パネルディスカッション	自然に良いインフラが実際に何を意味するのか、そして金融や政策がそれを大規模に提供するためにどのように動員できるかを定義する。
海のネイチャーポジティブ	パネルディスカッション	海洋の文脈における「ネイチャー・ポジティブ」とは何か、そして政策、ビジネスアクション、金融、イノベーションを通じてどのように海洋に良い成果が達成できるかを探ります。



GLOBAL NATURE POSITIVE SUMMIT

2026 KUMAMOTO JAPAN

4

DRAFT HIGH LEVEL PROGRAMME

DAY 2 continued - AFTERNOON:

Session name	Type of session	Short description
テーマ別セッション	分科会 サイドイベント	ネイチャーポジティブに関連する分野別、横断的、具体的な課題に特化した並行セッション。テーマは後日公開
閉会	全体会	サミットの主要メッセージと成果の要約、締めくくりの振り返り、そしてNature Positiveを世界的に推進するための次のステップ

夕方:(TBC)

DAY 3 - Kumamoto Landscape Excursion

熊本県は「自然のポジティブランドスケープ」のケーススタディです。ここには自然の力によって形作られたランドスケープが豊富にあります。

この地域には、阿蘇山、有明海、八代海、そしてラムサール条約で指定された潮間である荒尾干潟などの象徴的なランドマークがあります。

熊本は、ネイチャー・ポジティブな未来を目指すために知恵を集め、結びつけるのに最適な場所です



Summit Announcement: September 2025

このサミットは、ネイチャー・ポジティブ・イニシアティブ、国際自然保護連合(IUCN)日本委員会、ICLEI(持続可能性のための地方自治体)によって発表され、日本政府、熊本市、日本自然保護協会(NACS-J)、自然関連財務開示タスクフォース(TNFD)、IUCNインターナショナル、ICLEIインターナショナル、ワールドビジネスの支援を受けました持続可能な開発評議会(WBCSD)。 Press Release [here](#).



サミット主催者:ネイチャー・ポジティブ・イニシアティブ、IUCN-日本、ICLEI-日本

サミットマネージャー:日経BP **NIKKEI BP**

会場: [熊本城ホール](#)、3-40、桜町、
熊本市中央区、熊本市、郵便番号860-0805、日本

スポンサーシップの機会について詳しく知りたい方は、[こちら](#)をクリックしてください。さらにご質問があれば gnps2026sec@pcoworks.jp 事務局にご連絡ください。また、7月14日から15日に開催されるサミットおよび確定講演者への参加登録の詳細も[こちら](#)でご確認ください。